

行事等

- 8月10日：第4回「第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」組織委員会に藏内会長，境副会長兼専務理事出席
：第74回日本獣医師会雑誌編集委員会
- 8月18日：令和3年度日本獣医師会学術学会年次大会企画実行委員会
- 8月19日：日本獣医師会雑誌通巻900号発刊記念企画座談会

- 8月20日：業務運営幹部会（WEB併用会議）
- 8月21日：FAVA執行部及び小委員会合同会議に藏内会長，境副会長兼専務理事出席
- 8月23日：WWFジャパンweb会議に境副会長兼専務理事出席
- 8月30日：日本家畜商協会令和3年度預託事業運用体制検討委員会・第2回検討委員会委員会に境副会長兼専務理事出席

募集

令和3年度 茨城県職員（獣医師）採用選考案内

社会人経験者等を対象とした茨城県職員採用選考（獣医師）を次のとおり実施する。

- 受付期間：7月21日（水）9時～
9月30日（木）17時
- 申込方法：インターネット申込み

1 採用予定人員及び採用時の勤務場所等

- (1) 採用予定人数：3名程度
- (2) 勤務場所及び主な職務内容：
知事部局の本庁または出先機関で，主にと畜検査，家畜保健衛生及び食品衛生等に関する監視等の業務に従事

2 受験資格

- (1) 昭和37年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた人
- (2) 令和3年6月末現在で，獣医師の免許を有し，かつ，獣医師免許取得後，民間企業，団体，国・地方公共団体等における職務経験を5年以上有する人

3 選考の日時及び会場

- (1) 日程：10月17日（日）8:30頃 開場
- (2) 会場：茨城県水戸合同庁舎
(水戸市柵町1-3-1)

問い合わせ先

※申し込み手続きや選考方法等については，「茨城県ホームページ（<https://www.pref.ibaraki.jp/>）」の「募集・採用」を参照。

茨城県保健福祉部生活衛生課動物愛護グループ

電話 029-301-3418
FAX 029-301-3439
E-mail seiei1@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県庁
ホームページ
「採用試験等情報」



ツイッター
(@ibaraki_saiyou)

県公認
Vtuber
茨ひより



日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程（本誌第73巻第12号715頁に掲載）」を参照願います。



募 集

令和3年度

新潟県 職員（獣医師）採用選考案内

1 受験資格

(1) 年 齢

昭和37年4月2日以降に生まれた人

(2) 資格要件

獣医師の免許取得者または令和4年に行われる獣医師国家試験により免許取得見込みの人

2 採用予定人数及び勤務場所

(1) 採用予定人数：5人程度

(2) 勤務場所

家畜保健衛生所、食肉衛生検査センター、保健所、動物愛護センター、畜産研究センター、保健環境科学研究所など

3 選考考査の日程等

(1) 日時・会場

令和3年10月24日（日）

新潟県庁（新潟市中央区新光町4番地1）

(2) 申込受付期間

令和3年8月27日（金）～10月18日（月）

(3) 合格者の発表

11月中旬頃に受験者あて連絡

※受付期間及び申し込み手続き等については、新潟県ホームページ参照

4 選考方法

論文審査、適性検査、面接考査

5 給 与 等

新潟県の給与に関する条例の規定による

卒業後に職歴等がある場合は一定の基準により加算。

このほか、地域手当、期末手当、勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当等が状況により支給

問い合わせ先

新潟県福祉保健部生活衛生課

☎025-280-5786

E-mail: ngt040250@pref.niigata.lg.jp

新潟県農林水産部畜産課

☎025-280-2963

E-mail: ngt060050@pref.niigata.lg.jp

紹 介

◎新 刊

野生動物医学への挑戦

寄生虫・感染症・ワンヘルス

寄生虫学や感染症学を専門とする獣医師である著者が大学の講義に基づき「野生動物学」、「野生動物医学」について、獣医師、獣医学生その他、動物看護師、獣医学系大学への進学を目指す高校生にも理解が深まるようわかりやすく解説した書。

著 者：浅川満彦

ISBN：978-4-13-062229-5

判 型：A5判

ページ：208頁

定 価：2,900円（税抜き）

問合せ先：東京大学出版会

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-5-29

TEL 03-6407-1069

FAX 03-6407-1991

紹介

◎新刊

「人とペットの赤い糸」 越村義雄 著

中間實徳（山口大学名誉教授・
東亜大学客員教授）

本書はペットフード協会名誉会長の越村義雄氏が2017年10月から2020年1月まで、毎週木曜日に「夕刊フジ」に連載されたコラムから、72話を厳選して本として出版されたものである。3章から構成されており、第1章は29話、第2章は25話、第3章は18話がかかれている。

第1章 ペットと暮らす

この章は第1話の「犬と人が快適に暮らせる家とは？」に始まり、第11話の「猫と触れ合い癒される場—猫カフェ」では、2017年日本で初めて猫の飼育頭数が犬の飼育頭数を上回り、2020年猫の飼育頭数964万4,000頭、犬の飼育頭数848万9,000頭になっています（ペットフード協会調べ）。また、ウサギやフェレット・ハムスター、野鳥等の飼育方の注意点、「ペットロス克服するには」といった問題等が分かりやすく書かれている。

第2章 ペットを知る

第1話の「人生100年時代の人とペットのあり方とは？」では、日本の2019年の厚生労働省の発表で、日本人の平均寿命は、女性が87.45歳（世界第2位）、男性が81.41歳（世界第3位）と過去最高を更新した。著者がペットフード協会の会長時代（2014年）に人の健康寿命を政府が行う同様の手法で調査した結果、「犬を飼って散歩に連れて行く」人は「ペット飼育経験なし」の人に比べ、男性は0.44歳、女性は2.79歳も健康寿命が延びたという結果を得た。

第3章 人とペットの理想郷

第1話「介助犬とともに自立した生活を」には、補助犬といわれるものは、2020年4月時点で盲導犬909頭、介助犬62頭、聴導犬69頭が活動している。一方、2017年3月時点で、日本の視覚障害者は約33万8,000人、肢体不自由者が約275万5,000人、聴覚・平衡機能障害者は約44万8,000人で、補助犬は身体障害者の約0.03%にも満たないとのことである。

第3話「盲導犬は大切な家族の一員」では、盲導犬が補助犬の中では最も多いですが、それでも、日本には視覚障害者の約33万人以上に対して盲導犬は900頭余りです。盲導犬は英語で「Guide Dog」または「Seeing Eye Dog」と呼ばれ、まさに視覚障害者の目の役割を担っている。盲導犬を育成するには盲導犬訓練士が不可欠で、彼（彼女）らは盲導犬の訓練だけではなく、目の不自由な人と盲導犬の歩行指導も行う盲導犬歩行指導員でもある。盲導犬とどのように歩行するかという技術的な指導だけでなく、盲導犬と生活を始めるのに立ち会い、その後も見守るといった責任も負っている。

第9話「殺処分ゼロより飼育放棄ゼロへ」では、殺処分の問題解決への5つの提言をしています。すなわち①教育・啓発、②鑑札・迷子札・マイクロチップの装着、③不妊去勢手術の徹底、④殺処分ゼロから飼育放棄ゼロへ、⑤ペットを迎え入れる際の飼い主の理解を挙げている。

ここに紹介した越村氏の近著「人とペットの赤い糸」には、獣医師や獣医学生、動物看護師やその学生にも大いに参考になる事柄が掲載されており、ここに一読を推薦する。

著者：越村義雄（人とペットの幸せ創造協会会長・
ペットフード協会名誉会長）

発行：Gakken 榊学研プラス

発行日：2021年7月13日

体裁：261頁

定価：1,650円（税込み）